

平成21年9月期  
ミニディスクロージャー誌

第38期 中間報告書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)



みちのく銀行からの  
お知らせです。

Michinoku Bank

MINI DISCLOSURE 2009.9

みちのく銀行



取締役頭取

## 杉本 康雄

皆さまには、平素よりみちのく銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行へのご理解を深めていただくために、「平成21年9月期ミニディスクロージャー誌／第38期中間報告書」を作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いに存じます。

リーマンショックから1年が過ぎ、国内の経済情勢や金融市場は多少落ち着きが見られるものの、地元においては、まだまだ景気回復の兆しが見られない状況にあります。

このように、経済情勢や金融市場に一段の悪化懸念が払拭されないなか、仮にもそうした事態が生じた場合への十分な備えを持つために、当行では、本年9月、金融機能強化法を活用した資本増強を行い、財務基盤を一層強化いたしました。その結果、昨年10月に宣言した「みちのく銀行の決意」(裏表紙をご参照ください)を永続的に実行する態勢は強固なものとなりましたので、これまで以上に、地元の中小企業、個人の皆さまへの安定的かつ円滑な資金供給等を推進してまいります。

本年4月には、第二次中期経営計画「新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～」(平成21年4月～平成24年3月)をスタートさせ、「営業力の強化」、「収益力の強化」、「人材・組織の活性化と専門性の強化」などを重点方針として、現在取り組みを進めております。なかでも、「営業力の強化」への取り組みとして、営業体制を抜本的に再構築いたしました。

個人のお客さまへの営業力を強化していくために、全店の「営業部門」を「窓口サービス課」、「渉外部門」を「個人営業課」にそれぞれ変更しており、今後は、資産運用ニーズ等への提案に関する専門スキルを有する「マネーコンサルタント(通称:MC)」を順次配置してまいります。また、各地区の中核となる営業店10カ店においては、従来の「融資部門」を「法人営業課」、「融資課」の2課体制に発展的に分離し、「法人営業課」を法人のお客さま対応の専門部署とするなど、営業体制の大幅な改革を実施しております。これにより、個人・法人のお客さまのニーズにこれまで以上に、的確、スピーディーにお応えできる体制が整ったものと考えております。

私どもみちのく銀行は、『地域最優の銀行』の実現を目指し、役職員一丸となって地域の皆さまに親しまれ、真にご満足いただけますよう、引き続き、誠心誠意取り組んでまいります。今後も変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

### プロフィール(平成21年9月30日現在)

名称	株式会社みちのく銀行
設立	大正10年(1921年)10月27日
本店所在地	青森市勝田一丁目3番1号
資本金	341億67百万円
従業員数	1,351名
店舗数	国内：本支店100、出張所5 海外：駐在員事務所1(上海)
主要勘定	預金残高……………1兆7,426億円 貸出金残高……………1兆2,446億円 有価証券残高……………4,691億円 自己資本比率…11.61% (連結ベース/国内基準)

### 目次

ごあいさつ	1	個人のお客さまのために	9
第二次中期経営計画	2	法人・事業主のお客さまのために	10
業績ハイライト	3	財務諸表	12
CSR(企業の社会的責任)への取り組み	6	株式の状況・株式のご案内	14

# 第二次中期経営計画

## ● 新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～

当行は、引き続き、「地域において圧倒的な存在感を持つ『地域最優の銀行』」を目指すべき銀行像に掲げ、平成21年4月から平成24年3月までの3カ年を計画期間とする、「第二次中期経営計画『新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～』」に取り組んでおります。

「第一次中期経営計画」で築き上げた経営基盤をさらに充実させ、そのうえで地域密着型金融をベースとした営業力の強化、人材育成の強化といった、生産性向上のためのさまざまな施策を展開することで、あらゆる面において総合力を発揮できる力強い組織を目指しております。

### 第二次中期経営計画

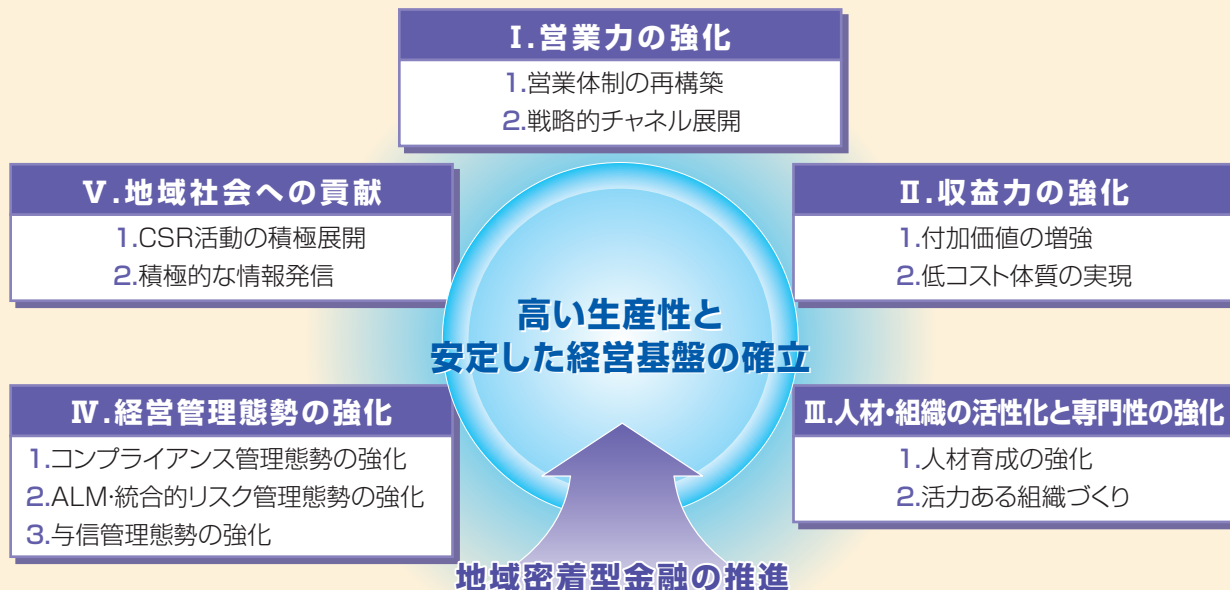
## 新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～

### 地域において圧倒的な存在感を持つ「地域最優の銀行」

## ● 重点方針と基本戦略

### 重点方針

「第二次中期経営計画」では、「営業力の強化」「収益力の強化」「人材・組織の活性化と専門性の強化」「経営管理態勢の強化」「地域社会への貢献」の5つの重点方針を定め、さまざまな基本戦略を展開しております。



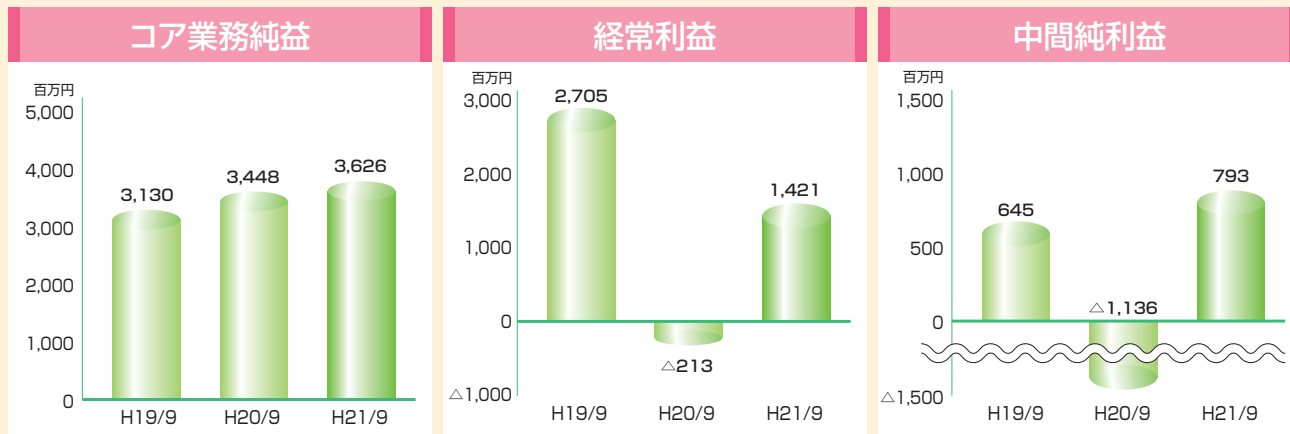
# 業績ハイライト

## 収益の状況

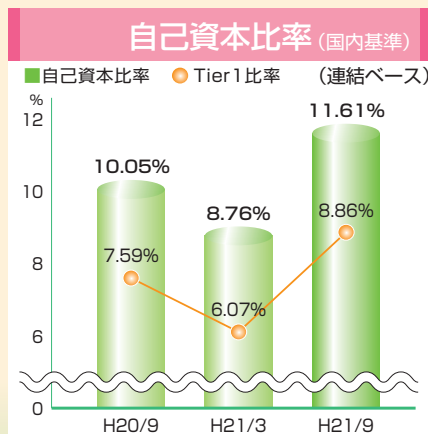
コア業務純益は、前年同期比1億円増加となる36億円となりました。

地元経済は未だ厳しい環境下にあるものの、一般貸倒引当金繰入額や不良債権処理額といった与信費用は、前年同期比39億円減少の17億円となりました。加えて、有価証券関係損益は、金融市場が依然として不安定ななか、適切なリスクコントロールを意識しつつ株式等を圧縮し国債等へ投資を振り向けた結果、前年同期比11億円減少の3億円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比16億円増加の14億円、中間純利益は前年同期比19億円増加の7億円となりました。



## 自己資本比率の状況



経営健全性の指標である自己資本比率は連結ベースで11.61%、単体ベースで11.71%と、国内基準行に求められている4%を大幅に上回り、引き続き十分な健全性を確保しております。

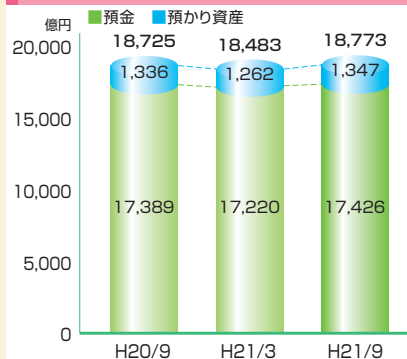
## 預金・預かり資産の状況

預金は、前年同期末比37億円増加して1兆7,426億円となり、預金・預かり資産の合計残高は、前年同期末比48億円増加の1兆8,773億円となりました。

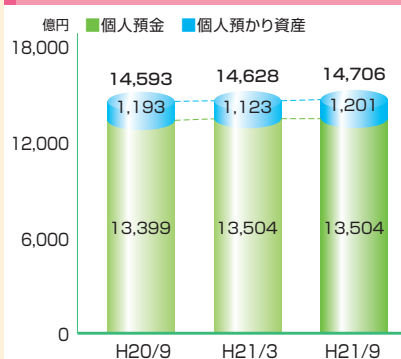
個人のお客さまの預金・預かり資産の合計残高は、預金・公共債・年金保険の増加により、前年同期末比113億円増加の1兆4,706億円となりました。

主要営業基盤の青森県・函館地区における預金は、預金全体に占める割合が91.2%となりました。

### 預金・預かり資産残高



### 個人預金・個人預かり資産残高



### 預金に占める青森県+函館地区預金残高の割合

預金残高 1兆7,426億円

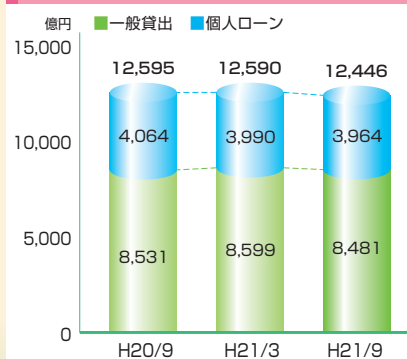


平成21年9月末

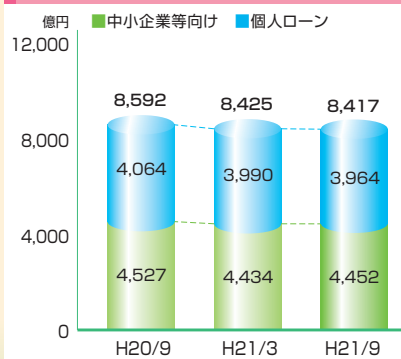
## 貸出金の状況

貸出金は、法人向けを中心とした一般貸出が前年同期末比50億円減少したこと、および住宅ローンを中心とした個人ローンが前年同期末比100億円減少したことなどから、全体では前年同期末比149億円減少の1兆2,446億円となりました。

### 貸出金残高

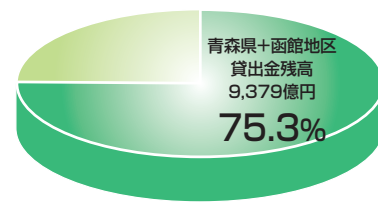


### 中小企業等向け・個人ローン貸出金残高



### 貸出金に占める青森県+函館地区貸出金残高の割合

貸出金残高 1兆2,446億円



平成21年9月末

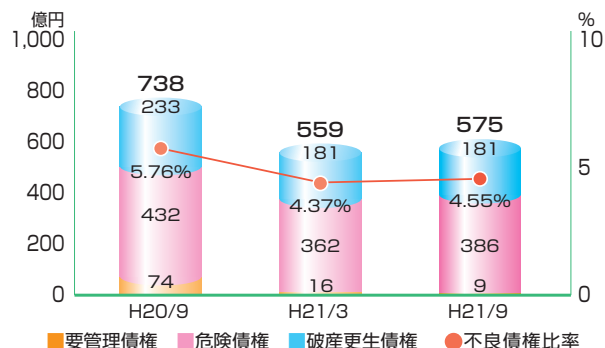
## 資産健全化への取り組み

金融再生法開示債権は、前年同期末比163億円減少し、対象債権に占める開示債権の比率は、前年同期末比1.21ポイント改善しております。

また、金融再生法開示債権に対する保全率は98.2%と、引き続き高い水準を維持しております。

今後も、不良債権発生抑制や、再生および最終処理に向け、審査・管理体制の強化を図ってまいります。

## 金融再生法に基づく開示債権の推移



## 与信関連資産に占める各債権の割合

対象債権合計 1兆2,630億円

対象債権全体の4.55%程度と  
なっております。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
**1.42%**(181億円)

危険債権  
**3.05%**(386億円)

要管理債権  
**0.07%**(9億円)

正常債権  
**95.44%**  
(1兆2,055億円)

平成21年9月末 (金融再生法基準)

## 金融再生法開示債権の保全状況

(平成21年9月末)  
単位:億円

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	181	181	124	55	100.0%
危険債権	386	378	248	129	98.1%
要管理債権	9	5	3	2	66.7%
計	575	564	376	187	98.2%

※債権回収の危険度合いなどに応じて、次の4種類に区分しております。

- **正常債権**：財政の状態や経営成績など、特に問題のない取引先に対する債権。
- **要管理債権**：3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件を緩和した取引先に対する債権。

- **危険債権**：まだ経営破綻には陥っていないが経営難の状態にあり、正常な返済ができない可能性の高い取引先に対する債権。
- **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**：経営破綻状態にある取引先に対する債権。

# CSR（企業の社会的責任）への取り組み

## コーポレートガバナンス、コンプライアンスへの取り組み

### ●コーポレートガバナンス

当行が永続的に成長・発展していくためには、経営環境の変化に対応しながら、経営効率の向上、経営の健全性を確保していくことが重要であると認識しております。継続的にガバナンス体制を強化、整備するとともに、その方針が当行内部において浸透し、実践されるよう内部統制を強化しております。

### ●コンプライアンス

当行では、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付け、健全な経営を維持・向上させていくために、コンプライアンスに関する取り組み方針、運営体制を定め、役職員の共通認識のもと、徹底した取り組みを実践しております。

## お客さまへのサービス向上に向けた取り組み

### ●CS（お客さま満足度）向上運動



「象の耳（お客さまの声）カード」をはじめとした各種アンケート等の実施を通じ、お客さまの声（ご意見・ご要望等）を幅広く吸収するなど、「CS（お客さま満足度）向上」に向けた各種取り組みを積極的に行っております。

### ●マナー研修「ひまわり」

お客さまへのサービス向上の基本となるビジネスマナーアップを目的に、マナー研修「ひまわり」を実施し、マナーアップリーダーの育成を行っております。



マナー研修「ひまわり」

## 積極的な情報開示への取り組み



IR説明会開催（東京）

お客さまや株主の皆さま、そして地域の皆さまといったステークホルダーの方々に当行の経営状況をご理解いただくために、積極的な情報発信に努めております。

## 情報開示スケジュール

- 12月 中間ミニディスクロージャー誌発行・IR説明会開催（東京）
- 1月 中間ディスクロージャー誌発行
- 2月 第3四半期決算発表・第3四半期報告書提出
- 5月 決算発表
- 6月 IR説明会開催（東京）・有価証券報告書提出・ミニディスクロージャー誌発行
- 7月 ディスクロージャー誌発行



## 社会貢献活動への取り組み

### ●「財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」の活動

地域振興および地域貢献活動を行っている個人、団体、企業への助成金等の支援を目的に、「財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」（基本財産 10 億円）が継続的な助成活動を行っております。

助成事業は、「地域振興」「教育・福祉・環境」「育英奨学金」となっており、地域の発展に寄与するために皆さまを永続的に支援してまいります。



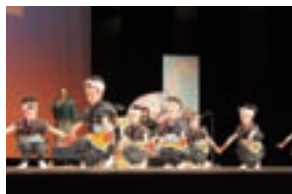
お問合せ先：財団法人みちのく・ふるさと貢献基金 事務局  
Tel. (017) 774 - 1179

### ●地域のスポーツ振興・伝統芸能の継承

地域のスポーツ振興、伝統芸能の継承などを目的に、各種支援を行っております。



青森県民駅伝競走大会



ちびっこ手踊り王座決定戦



バンクーバーオリンピック  
カーリング日本代表決定戦

#### 【主な支援活動】

- 青森県民駅伝競走大会 ●弘前・白神アップルマラソン
- バンクーバーオリンピック カーリング日本代表決定戦
- ちびっこ手踊り王座決定戦

カーリングの街を標榜する青森市を活動拠点とする女子カーリング「チーム青森」を、地域金融機関として応援して盛り上げていくことを目的に、「チーム青森応援定期預金」を、期間限定（平成22年3月末まで）で販売しております。



チーム青森

お預け入れ10万円につき5円を、チーム青森活動資金として、当行が青森県カーリング協会へ寄付させていただきます。（寄付金については、お客さまのご負担はなく、当行が負担いたします。）

### ●地域の「安全」・「安心」なまちづくりのために

地域の皆さまが安全・安心して暮らせるまちづくりのために、地域社会の一員として、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

#### 【AEDの設置】

青森県内に本店を有する金融機関では初めて、「AED」を本支店 33 カ所に設置し、お客さまがより安心してご来店いただける安全な店舗環境の整備に努めております。



#### 【こども110番の店】

登下校時の児童生徒を悩らせた凶悪犯罪等が相次いで発生しているなか、児童生徒が危険を感じ、助けを求めてきた場合、保護し、警察へ通報する等「こども110番の店」の活動を展開しております。



## ●地域の祭り・イベントへの参加

青森ねぶた祭をはじめとする各地で開催される祭り・イベントに積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を図っております。



青森ねぶた祭

## 環境保全への取り組み

青森県の美しい自然環境を次の世代に引き継ぐために、環境保全への取り組みに関する国際規格である「ISO14001」の認証を、本部および全営業店で取得し、認証の登録を維持・管理しております。

当行が掲げる「みちのく銀行環境方針」に基づいて、全役職員が一体となり、さまざまな活動を展開しております。



## ●「みちのく<エコ>定期預金」による寄付金の贈呈

お客さまとともに地元の環境保全に取り組んでいきたいという趣旨のもと、期間限定で発売した「みちのく<エコ>定期預金～世界遺産白神山地のブナを守る～」について、寄付金を贈呈しております。

定期預金残高に応じた一定金額を、お客さまに代わって、当行が白神山地のブナ保護活動のために、二度（平成20年9月、平成21年9月）にわた



り寄付しております。

また、白神山地にて、当行職員によるブナ苗木の植樹も実施しております。



## ●「チーム・マイナス6%」への参加

政府が推進している地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」に参加し、クール・ビズの実施など、さまざまな活動を展開しております。



みちのく銀行はチーム・マイナス6%に参加しております。



## 職員がいきいきと働く職場づくり



当行では「職員がいきいきと働く活力のある銀行」を作り上げるために、雇用環境の整備や積極的な人材登用を行うための体制整備に努めております。

## ●人事制度

若手層から中高年層までの全ての職員が、自らの能力を最大限に発揮できる人事制度を運用しております。

## ●嘱託から行員への登用

豊富な業務スキルと高い業務意欲を持った嘱託を、積極的に行員へ登用し、人材の活性化を図っております。

## ●裁判員休暇

「裁判員制度」の開始にあたり、銀行としての社会的責任を果たすために、参加日数に上限を定めることなく、特別有給休暇として認める「裁判員休暇」を制度化し、職員が「裁判員制度」に参加しやすい環境を整備しております。

## ●妻の出産休暇

平成17年4月に施行された「次世代育成支援対策推進法」により、当行が策定した行動計画目標に基づき、仕事と子育てを両立できる環境を整備しております。

# 個人のお客さまのために

個人のお客さまのために

## 個人営業体制の強化

店舗機能に応じた戦略的な店舗展開として、「個人店」を20カ店(インスタブランチ5カ店を含む)まで拡大しております。

また、平成21年11月には、個人のお客さまのさまざまなニーズへの対応を一層強化するために、全店の「営業部門」を「窓口サービス課」、「渉外部門」を「個人営業課」にそれぞれ変更しております。今後は、資産運用ニーズ等への提案に関する専門スキルを有する「マネーコンサルタント(通称:MC)」を、平成22年度末を目処に全店に配置する予定です。



個人店 (高井支店)



個人店 (インスタブランチ)

## 住宅ローンセンターの強化

「住宅ローンセンター」は住宅ローン専門のアドバイザーが、住宅関連業者さまや個人のお客さまのご都合に合わせて訪問し、お客さまのニーズに的確、スピーディーに対応しております。

また、平成21年7月には、青森市浜田地区にオープンした住宅展示場(ハウジングパーク)内に、「みちのくマイホームプラザ青森」を開設しております。



- ・青森住宅ローンセンター (みちのくマイホームプラザ青森内) ☎ 0120 - 083709
- ・弘前住宅ローンセンター (弘前営業部内) ☎ 0120 - 143709
- ・八戸住宅ローンセンター (八戸営業部内) ☎ 0120 - 443709
- ・函館住宅ローンセンター (函館支店内) ☎ 0120 - 663709

## 預金・ローン商品のラインナップ強化

お客さまのライフサイクルに合わせたさまざまなニーズにお応えできるよう、預金商品、ローン商品について、新商品の開発やサービス向上に積極的に取り組んでおります。



## 偽造・盗難カード犯罪防止に向けて

お客さまの大切な預金をお守りするために、偽造が困難な「ICキャッシュカード」および「指静脈生体認証機能」を取り扱っております。

コンビニエンスストア「ローソン」に設置されているATMにおいても、当行 IC キャッシュカードの IC 機能を利用したお取引が可能となっております。

当行は、引き続き、キャッシュカード犯罪防止に向けて、セキュリティの強化に努めてまいります。



クレジット一体型 IC キャッシュカード

## 「コミュニケーションボード」・「耳マーク」表示板の設置

「バリアフリー化」の一層の向上を目指して、耳の不自由なお客さまとの円滑なコミュニケーションを図るため、「コミュニケーションボード」、「耳マーク」表示板を全店に設置しております。



## 法人営業体制の強化



中核店（八戸営業部）

平成21年11月、各地区の中核となる営業店10ヵ店において、従来の「融資部門」を「法人営業課」、「融資課」の2課体制に発展的に分離し、「法人営業課」を法人のお客さま対応の専門部署とするなど、営業体制の大幅な改革を実施しております。

「法人営業課」には高度化、多様化する法人のお客さまのニーズに的確、スピーディーにお応えすることのできる知識と経験を積んだ行員を配置し、お客さまにメリットのある情報提供や商品等を提案していくことで、地域密着型金融を一層推進してまいります。

「法人営業課」については、今後も各地区の中核となる営業店に順次設置していく予定です。

## 10行合同「日本食品展示商談会in上海」の開催

平成21年10月に鹿児島銀行、山陰合同銀行、静岡銀行、七十七銀行、千葉銀行、八十二銀行、広島銀行、ふくおかフィナンシャルグループ（福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行）、北洋銀行と合同で、「第3回日本食品展示商談会in上海」を開催しております。



本商談会は、日本の食品・農産・水産企業と中国で食品に関わる多業種の関係者が一堂に会し、新たなビジネスチャンスの創出や交流を図ることを目的としております。

## 産学連携協力

地域の新規事業シーズの発掘貢献と相互の発展を目指して、八戸工業大学、弘前大学、八戸工業高等専門学校と連携協力に関する協定を締結し、産学との連携を強化することで、地域経済の発展に努めております。

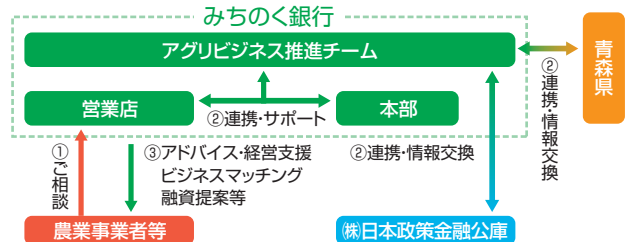


弘前大学調印式

## アグリビジネス推進チームの設置

「農林水産業」に特化したさまざまな取り組みを行うため、株式会社日本政策金融公庫「農業経営アドバイザー」の試験合格者を中心に構成した「アグリビジネス推進チーム」を設置しております。農商工連携ビジネスマッチング等の活動を通じて、農業を中心とした事業者の事業発展と青森県経済の発展に寄与してまいります。

### ●アグリビジネス推進チーム 活動イメージ図



また、当行では、企業と青森県内の農山村の交流拡大と、企業と農山村の活力の向上を目的に、青森県が実施している「農山漁村と企業の連携活性化事業」に、社会貢献活動の一環として、当行職員および家族が参加しております。



## 動産担保融資（ABL）

中堅・中小企業のお客さまのさまざまな資金需要にお応えするために、商品・原材料といった商品在庫や売掛金などを担保にご融資する「動産担保融資」（ABL）への取り組みを強化しております。

また、青森県の基幹産業である「農林水産業」分野に対しても、ABLを積極的に取り入れていくことで、地域経済の活性化に努めてまいります。



### ● ABL イメージ図

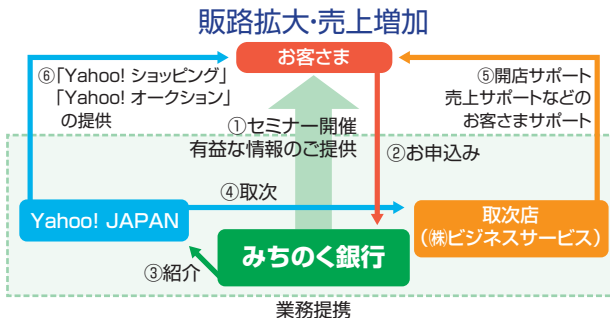


## 「Yahoo! ショッピング」・「Yahoo! オークション」 出店支援サービス

「ヤフー株式会社（本社：東京都）」が提供する『Yahoo! ショッピング』・『Yahoo! オークション』出店支援サービスを、県内金融機関では初めて取扱開始しております。

出店を希望されるお客さまをヤフー株式会社へ紹介し、地元中堅・中小企業のお客さまの販路拡大をサポートしていくことで、地域経済の活性化に努めてまいります。

### ● 「Yahoo! ショッピング」・「Yahoo! オークション」 出店支援サービス イメージ図



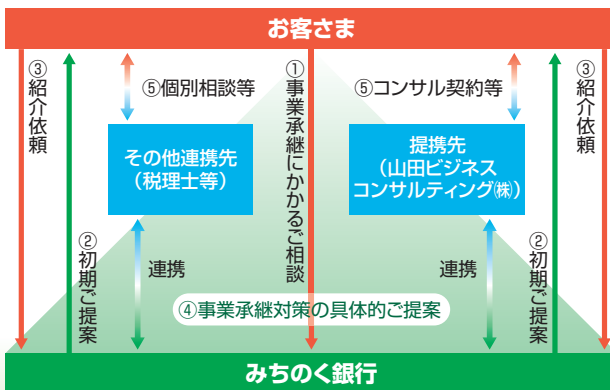
## 事業承継支援サービス

中堅・中小企業の多くのお客さまが、重要な経営課題と位置づけている事業承継問題への支援を強化する一環として、事業承継支援サービスを取り扱っております。



事業承継支援サービスは、資産の承継（物的承継）と経営の承継（人的承継）の両面から、専門機関との提携のもと、各種提案から実行に至るまで、円滑な事業承継をサポートしてまいります。

### ● 事業承継支援サービス イメージ図



## 中間財務諸表

### ● 中間貸借対照表

（平成 21 年 9 月 30 日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>	
現金預け金	50,353
コールローン	63,491
買入金銭債権	5,882
商品有価証券	198
金銭の信託	19,906
有価証券	469,175
貸出金	1,244,636
外国為替	534
その他資産	24,463
有形固定資産	13,524
無形固定資産	1,623
繰延税金資産	12,273
支払承諾見返	12,506
貸倒引当金	△ 29,428
資産の部合計	1,889,141
<b>(負債の部)</b>	
預金	1,742,688
借入金	14,300
外国為替	116
社債	15,000
その他負債	25,743
賞与引当金	905
退職給付引当金	10,159
役員退職慰労引当金	244
睡眠預金払戻損失引当金	540
偶発損失引当金	326
再評価に係る繰延税金負債	877
支払承諾	12,506
負債の部合計	1,823,407
<b>(純資産の部)</b>	
資本金	34,167
資本剰余金	29,774
利益剰余金	2,908
自己株式	△ 2,666
株主資本合計	64,184
その他有価証券評価差額金	1,481
繰延ヘッジ損益	△ 251
土地再評価差額金	319
評価・換算差額等合計	1,549
純資産の部合計	65,733
負債及び純資産の部合計	1,889,141

### ● 中間損益計算書

（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
経常収益	21,916
資金運用収益	17,606
（うち貸出金利息）	(13,735)
（うち有価証券利息配当金）	(3,771)
役務取引等収益	2,508
その他業務収益	408
その他経常収益	1,393
経常費用	20,495
資金調達費用	2,566
（うち預金利息）	(1,938)
役務取引等費用	2,035
その他業務費用	319
営業経費	12,498
その他経常費用	3,074
経常利益	1,421
特別利益	86
特別損失	37
税引前中間純利益	1,470
法人税、住民税及び事業税	19
法人税等調整額	657
中間純利益	793

## 中間連結財務諸表

## ● 中間連結貸借対照表

(平成 21 年 9 月 30 日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	50,353
コールローン及び買入手形	63,491
買入金銭債権	7,058
商品有価証券	198
金銭の信託	19,906
有価証券	466,754
貸出金	1,246,730
外国為替	534
その他資産	24,592
有形固定資産	13,726
無形固定資産	1,647
繰延税金資産	12,247
支払承諾見返	12,506
貸倒引当金	△ 33,716
資産の部合計	1,886,031
(負債の部)	
預金	1,736,204
借入金	6,000
外国為替	116
社債	15,000
その他負債	29,995
賞与引当金	924
退職給付引当金	10,160
役員退職慰労引当金	244
睡眠預金払戻損失引当金	540
偶発損失引当金	326
利息返還損失引当金	69
再評価に係る繰延税金負債	877
支払承諾	12,506
負債の部合計	1,812,967
(純資産の部)	
資本金	34,167
資本剰余金	29,774
利益剰余金	2,164
自己株式	△ 2,666
株主資本合計	63,440
その他有価証券評価差額金	1,481
繰延ヘッジ損益	△ 251
土地再評価差額金	319
評価・換算差額等合計	1,549
少数株主持分	8,073
純資産の部合計	73,064
負債及び純資産の部合計	1,886,031

## ● 中間連結損益計算書

(平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	23,421
資金運用収益	17,778
(うち貸出金利息)	(13,900)
(うち有価証券利息配当金)	(3,778)
役員取引等収益	2,924
その他業務収益	407
その他経常収益	2,310
経常費用	21,640
資金調達費用	2,382
(うち預金利息)	(1,932)
役員取引等費用	1,740
その他業務費用	319
営業経費	12,924
その他経常費用	4,273
経常利益	1,780
特別利益	87
特別損失	37
税金等調整前中間純利益	1,830
法人税、住民税及び事業税	45
法人税等調整額	661
少数株主利益	174
中間純利益	948

## ● 子会社および関連会社

(平成 21 年 9 月 30 日現在)

(株) みちのくサービスセンター	銀行事務代行業務
(株) みちのくオフィスサービス	労働者派遣業務
みち銀総合管理(株)	不動産の売買・所有・賃貸および 不動産の管理業務
みちのく信用保証(株)	住宅ローン等に係わる信用保証業務
Michinoku Preferred Capital Cayman Limited	優先出資証券発行に付随する業務 (特別目的会社)
みちのくカード(株)	クレジットカード業務
みちのくキャピタル(株)	投資業務

# 株式の状況・株式のご案内 (平成21年9月30日現在)

## ●発行済株式総数

- ◆普通株式 150,895,263 株
- ◆A種優先株式 40,000,000 株

## ●株主総数

- ◆普通株式 14,094 名
- ◆A種優先株式 1 名

## ●株式のご案内

- ◆事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◆定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- ◆定時株主総会の基準日 毎年3月31日
- ◆配当の基準日
  - ・期末配当 毎年3月31日
  - ・中間配当 毎年9月30日
- ◆1単元の株式の数 当行の1単元の株式の数は、1,000株となっております。
- ◆公告の方法 当行の公告方法は、電子公告といたします。なお、電子公告は当行のホームページに掲載しております。

## ◆株式事務取扱場所

- ・株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- ・同事務取扱所 (郵便物送付先・電話照会先)  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(証券代行事務センター)  
中央三井信託銀行株式会社証券代行部  
Tel. (03) 3323-7111 (代表)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

その他当行株式事務についてのお問い合わせは、フリーダイヤルまたはホームページで24時間受付しております。

フリーダイヤル 0120-78-2031

ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## ホームページのご案内

ホームページにて、常時情報を発信しております。  
ぜひ一度当行ホームページをご覧ください。

<http://www.michinokubank.co.jp/>



家庭の銀行



THE MICHINOKU BANK, LTD.

<http://www.michinokubank.co.jp/>

平成21年12月発行

みちのく銀行 経営企画部広報室

〒030-8622 青森市勝田1-3-1 Tel.(017) 774-1111

# みちのく銀行の決意

みちのく銀行は、頑張っている地元の皆さまを  
これまで以上に総力を挙げて応援します。

いま世界は、日本は、そして地域の経済は、未曾有の難局に直面しています。

みちのく銀行は、皆さまに育てられ、成長してきた銀行です。

「ふるさと」が底の見えない難局に突入している今こそ、頑張っている皆さまを総力を  
挙げて応援します。

何でも相談してください。

本当の問題解決のため、時には厳しいことも言わせていただくかも知れませんが、  
お客さまのご要望とは異なるご提案をさせていただくこともあると思います。

でも、我々はお客さまにとって何が良いのかを一所懸命に考えます。

地域に根ざした金融機関である我々は決して逃げません。ご相談は真正面から本気で  
受け止め、「真の問題解決」に向け総力を挙げて取り組みます。

「ネアカ・のびのび・へこたれず」をモットーに、皆さまとともに頑張ります。

「ふるさと」の明るい未来を引き寄せるために。

平成20年10月

みちのく銀行

頭取 **杉本康雄**  
役職員一同



環境ISO14001

みちのく銀行は、環境への取り組みに関する国際規格  
ISO14001の認証を、本店および全営業店で取得して  
おります。



この冊子は環境保全のため、再生紙と  
大豆油インキを使用しております。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

みちのく銀行はチーム・マイナス6%に参加しております。